

自動車の電気系統の分野で、新しい事業展開を図る

有限会社 杉江電機 奈良県生駒市

有限会社 杉江電機（代表取締役 杉江健一氏）は、昭和 38 年の創業以来、自動車の電気系統の修理店として業容を拡大してきた。しかしながら、近年、自動車の性能が良くなったため電気系統の故障が少なくなり、その分修理の需要は減少。

そこで、自社が得意とするこの分野で、次の展開を模索していたところ、「LED を使った電飾でロウソクの灯りを表現できないか」という依頼を受けた。依頼者は地元の祭り「竹あかりの夕べ」の関係者で、火を使えない場所でロウソクの代替となるものを探していた。

同社を実質的に切り盛りする杉江久男店長は、試行錯誤を重ねた結果、異なる点滅周期の LED を組み合わせて、ロウソクのように揺らぐ炎を人工的に作りだした。この商品は乾電池式でコンパクトな設計。平成 18 年に「かぐや姫の瞳」という名で「かぐや姫の瞳」商品化され、地元の祭りを飾っている。



その 1 年後、同社のホームページを見た富山県・伏木地区から新たな注文が舞い込んだ。伏木地区では、多くの提灯を付けた山車が練り歩く「伏木ひきやまつり」という祭りが盛んで、山車の灯りには通常の電球を使用していた。山車やみこし等は移動を伴うため、電源には 12 ボルトの自動車用バッテリーが使用されているが、山車一騎に 400 個程度備わる提灯に対応するには十数個のバッテリーが必要となる。そのため山車が相当の重量になるうえに消費電力も多く、一晩程度しか使えないという問題があった。

そこで同社では、消費電力を抑えることで大幅な軽量化が可能となる「エコタマ君」を開発した。「エコタマ君」は 1 回の充電で長時間使用することができ、さらに照度も高い。もちろん揺らぐ炎

の雰囲気も出せる。

「弊社の商品の良さは利用してくれた人がクチコミで広めてくれています」と語るように、今や県内外の祭りや屋外イベントで使用されている。また、全国から商品の問い合わせや引き合いも多いという。

LED と合わせて注目されるのが「ボルトチェンジャー」。12 ボルト対応のカーナビをトラック・バスなどの 24 ボルト対応の車に設置可能とする機器。比較的廉価で、簡単な作業で設置できるのも魅力的だ。

こういった一連の商品は、ユーザーの声を聞きながら杉江店長がひとつひとつ手作りで作りあげたものである。「お客様の要望は人によって微妙に違います。こういうものがないかといった無理難題も良く聞きます。要望に合わせて改良を加えています」（杉江店長）と常に顧客志向で商品づくりに専念する。

「今はまだ普及率が低いですが、今後、電気自動車主流になる時代がくる」と考える杉江店長は、将来を見据えこれまで培ってきた技術にさらに磨きをかける。

（丸尾尚史）



「ボルトチェンジャー」等の商品群（左）と「エコタマ君」を使った山車（右）



杉江久男店長

有限会社 杉江電機

〒630-0142 奈良県生駒市北田原町2453-2
TEL: 0743-78-0026 FAX: 0743-79-9954
URL: <http://www.sugiedenki.co.jp>